

【医療衛生学部】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を修得するため、以下のカリキュラムを編成しています。

- ①当該分野の指導者を養成しうる高度な教育課程を体系化したカリキュラム。
- ②自主的な人間形成と主体的勉学を促すようなカリキュラム。
- ③講義、実習、臨床実習の時間配分および教育項目のバランスを適正に保ったカリキュラム。
- ④医療系総合大学としてのチーム医療教育、国際チーム医療教育カリキュラム。

【保健衛生学科】

以下を修得できるカリキュラムを編成しています。

- ①全コース共通：

第一種・第二種衛生管理者（国家試験免除）。

- ②環境保健学コース：

食品衛生管理者、食品衛生監視員、環境衛生監視員（任用資格）。

健康食品管理士（受験資格）。

技術士補（上下水道部門、衛生工学部門、環境部門）、公害防止管理者（水質関係）、環境計量士（濃度関係）、環境測定分析士、第二種作業環境測定士などの受験に必要な知識と技術。

- ③臨床心理学コース：

公認心理師（公認心理師カリキュラムに対応した大学院修士課程に進学・修了することで受験資格）。

臨床心理士（日本臨床心理士認定協会指定大学院修士課程に進学・修了することで受験資格）。

※北里大学大学院医療系研究科臨床心理学コースは公認心理師カリキュラムに対応しています。同コースは日本臨床心理士認定協会指定第1種大学院（2020年11月現在）となっています。

【医療検査学科】

以下を修得できるカリキュラムを編成しています。

- ①チーム医療の一員である臨床検査技師に必要な知識と技術。
- ②病院検査室における指導者になり得る高度な知識と技術。
- ③医療人としての倫理観。
- ④医療機関でのチーム医療の実践に必要な能力。
- ⑤問題解決能力。
- ⑥グローバル化に伴う国際的な視点を持ったコミュニケーション能力。

【医療工学科・臨床工学専攻】

以下を修得できるカリキュラムを編成しています。

- ①臨床工学技士に必要とされる専門知識と技術、幅広い教養と国際貢献にも対応可能な語学力。
- ②工学系と医学系の基礎を重視し、さらにその応用に至る体系に基づく知識と技術。
- ③適切なバランスで時間配分された講義、実習、臨床実習から学ぶ知識と技術。
- ④臨床工学技士の業務を理解し、チーム医療の実践に必要な知識と技術。

【医療工学科・診療放射線技術科学専攻】

以下を修得できるカリキュラムを編成しています。

- ①診療放射線技師として必要なX線・MRI・超音波・放射性医薬品を用いた画像検査、がんの放射線

治療等、正確な診断と効果的な治療をサポートする知識と技術。

- ②高度で専門的な教育内容を体系化し、講義、演習、実習、臨床実習を通じた知識と技術。
- ③選択科目を設け、主体的勉強を促し、多様化した社会的ニーズに対応できる能力。
- ④診療放射線技師として協力する姿勢と問題を解決する能力を育成し、多職種と連携して多様な放射線技術に関わる問題に対するチーム医療の調整力。
- ⑤豊かな人間性及び幅広い教養を身につけるための基礎能力、学修スキル、コミュニケーション能力。
- ⑥国際的な視野を持ち、より効果的な放射線技術を探求する能力。

【リハビリテーション学科・理学療法学専攻】

以下を修得できるカリキュラムを編成しています。

- ①人としての教養を育む教養教育と専門職の土台となる基礎教育。
- ②主な対象である脳血管疾患、運動器疾患、心血管疾患及び呼吸器疾患に対し、理学療法を展開するための知識と技術を習得する専門教育。
- ③地域住民の健康増進や疾病予防など多様化した社会的ニーズに対応するために、②に挙げた理学療法の基本的な知識と技術を応用し発展させることができる教育。

【リハビリテーション学科・作業療法学専攻】

以下を修得できるカリキュラムを編成しています。

- ①作業療法士に必要な専門知識と技能。
- ②学内における講義及び実習によって作業療法の基礎的な知識と技能を修得すると共に、作業療法士としての態度と思考を身に付ける。
- ③病院・施設における臨床実習によって作業療法士としての姿勢や論理的判断能力を段階的に修得する。
- ④国際交流プログラムをとおして国際社会において広く活躍できる能力を身につける。

【リハビリテーション学科・言語聴覚療法学専攻】

以下を修得できるカリキュラムを編成しています。

- ①言語聴覚士に必要な専門知識と技術。
- ②多彩な専門基礎科目と幅広い専門科目の学習を通じて修得される、言語、聴覚、コミュニケーション、摂食・嚥下等の障害に関する高度な専門性。
- ③講義、問題解決型学習を取り入れた演習、見学実習及び臨床実習などで身に付ける、言語聴覚士としての態度と論理的な問題解決能力。

【リハビリテーション学科・視覚機能療法学専攻】

以下を修得できるカリキュラムを編成しています。

- ①視能訓練士に必要な専門知識と技術。
- ②問題点を科学的に評価し、適切な判断を行う能力。
- ③新しい分野の研究・教育において指導的役割を担うための能力（科学の進歩や医療のニーズに幅広く対応）。
- ④講義、実習、臨床実習を通じて、視覚の基礎知識から検査、治療、訓練の実践までを段階的に修得する。
- ⑤国際社会に対応できる幅広い研究・教育において国際的役割を担うための能力。